

キャラクター名 【ロウ・ソレイユ】 ウルスラ・ロウ・ソレイユ プレイヤー名

種族	ソレイユ	種族特徴	輝く肉体、太陽の再生、太陽の子		
生まれ	斥候	性別	女性	年齢	18
冒険者Lv	11	経歴	競い合う友人が居た		
経験点	450		規律に厳しい環境で育った 蛮族と間違われたことがある		

技	12	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	5	23		40 + 1	6				
体	11	敏捷度	7	12		31 + 1	5	シューター	11		
		筋力	12	8		31	5	スカウト	11		
心	3	生命力	6	7		24	4	エンハンサー	8		
		知力	4	1		8	1	アルケミスト	2		
		精神力	11	10		24	4				

戦闘特技			
追加攻撃	220 p	命中強化	IB32 p
投げ攻撃	225 p	武器の達人	IB31 p
カウンター	2120p		p
鎧貫き	IB39 p		p
トレジャーハント	2120p		p
ファストアクション	2123 p		p
影走り	2120 p		p
両手利き	IB32 p		p
武器習熟A/格闘	IB31 p		p
二刀流	IB30 p		p
武器習熟S/格闘	IB31 p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
ソレイユ語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
マッスルベアー	
ガゼルフット	
オウルビジョン	
デーモンフィンガー	
メディテーション	
ストロングブラッド	
アンチボディ	
パラライズミスト	
クリティカルレイ	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	11	17	16	16
フェンサー	0			
シューター	11	17	16	16

鎧と盾		必要 ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	アラミドコート+1		15	1	3
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	グラップラー	合計値	17	5	

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
投げ	2H	0		2d+ 18	12	19	0											
グラップラー専用																		
鎧崩しの拳	1H拳	15		2d+ 19	9	19	15											
グラップラー専用、パンチ強化、魔法の武器化																		
パワーアングル	1H#	13		2d+ 19	9	20	18											
グラップラー専用、キック強化、OM+3、銀製、魔法の武器																		
インスタントボウガン・ソリッド	1H	8		2d+ 19		0												
射程20m、補助で撃てる、OM+3																		
チェインネット	1H投	10	1	2d+ 19		16												
射程10m																		
チェインネット	1H投	10	1	2d+ 19		16												
射程10m																		
チェインネット	1H投	10	1	2d+ 19		16												
射程10m																		
チェインネット	1H投	10	1	2d+ 19		16												
射程10m																		

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	34 m	102 m	2d+ 17	5	59

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 16	2d+ 15	2d+ 15	26

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭 決死の鉢巻き	決死カウンターをできる
耳 蝙蝠の耳飾り	目が見えない状態でも行動可能
顔 DGIN熊王の牙(15000G)	マッスルベアーの効果に+1子熊の爪と重複する
首 子熊の爪	マッスルベアーの効果に+1
背中 結界のマント	毒、呪い、病気、精神効果属性を併う攻撃から受けるダメージを2点軽減します
右手 巧みの指輪	
腰 多機能真・ブラックベルト	
足 軽業のブーツ	転倒しなくなる
その他アルケミーキット	

装備品	説明
左手 俊足の指輪	
女王のコルセット	絡みや締めのパナルティ修正を無効化

その他メモ	自動失敗
一般技能：狩人Lv5、生肉業者Lv3、木工職人Lv2	チェック
アルコール耐性：49	□□□□⑤
とあるソレイユの村で生まれた少女。普通の両親を持ち、競い合う友もいた。そして、普通より少しだけ規律に厳しい生活を送っていた。が何度が、狩りに行くにつれ、自身の異常に気づいてしまった日常と戦いの境がないことに…	□□□□⑩
つまり、「息苦しいのだ、戦いがないと、鍛えられないと。酸素を求めると同じように。」ということだ。	□□□□⑮
そのことに気づいてからは極力異常者とバレないように過ごしていたが蛮族の軍団が村に来たとき、タガが外れてしまい色々あった結果	□□□□⑳
蛮族と間違われるようなことをしてしまい村から出るようになった。	□□□□㉑
その道中でいつの間にかここ(NNIBand)に迷い込んでいた。	□□□□㉒
NNIでの生活は未知のことばかりであった。いや、明らかに己が生きていた時代とは技術が隔絶していた。	□□□□㉓
村を離れたあと王都や帝都にも立ち寄ったことがあった。だが、その何処よりもここは榮えていた、	□□□□㉔
未知で溢れかえっていた、闘争がなかった、故にここに落ちてきたものたちは"未来"なのだろう。	□□□□㉕

